

令和7年度 八王子市立横山第二小学校 学校経営報告書 学校教育目標 ○よく考える子 ◎思いやりのある子 ○体をきたえる子

【目指す学校像】 「今日の学びに喜びを感じ、明日に期待を抱く学校」
 ○子供たちが、今日の学びに喜びを感じ、明日に期待を抱く学校
 ○教職員が、生き生きと仕事に取り組み、協働し高め合う学校
 ○保護者・地域と相互に連携しながら、心豊かな子供たちを育てる学校

【目指す児童像】 ○よく考える子 ◎思いやりのある子 ○体をきたえる子

【目指す教師像】 ○児童一人一人のよさを最大限に引き出し、伸ばす教師 ○自ら専門性を高め、授業力向上に努める教師 ○保護者・地域と積極的に連携し、信頼される教師

基本方針・重点目標	中期的目標と方策	今年度の取り組み目標と方策(教育活動の目標と方策及び重点目標と方策)	評価方法	主なアンケート項目に関する評価基準	評定	評定	今年度の実態や改善に向けた次年度の方策
確かな学力の育成	・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、主体的・対話的で深い学びの実現による3つの資質・能力の育成	の考えや意見を持ち寄り、より適切な解決方法を考えていく題解決学習を意図的・計画的に設定する。 ・学習用端末をはじめとしたICT機器を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、各教科等の指導における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。 ・補習教室や家庭学習等で、個々の課題に応じたドリル型学習コンテンツを活用した学習を進める。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・各種学力調査 ・教員による自己評価	【学習指導】【適正な評価】【授業評価】肯定的な回答が90%以上 【学習指導】【適正な評価】【授業評価】肯定的な回答が80%以上 【学習指導】【適正な評価】【授業評価】肯定的な回答が60%以上 【学習指導】【適正な評価】【授業評価】肯定的な回答が60%未満	A B C D	A	児童アンケート「先生の教え方は分かりやすい」の項目において、97.4%が肯定的評価であった。保護者アンケート【学習指導】及び【適正な評価】においても95.5%が肯定的評価であった。次年度も、質の高い学習指導を行い、主体的・対話的で深い学びを実現させ、3つの資質・能力の育成に努めていく。
	・教育課程の適正な実施と全ての教科における授業力の向上	・年間指導計画に基づいた授業を確実に実施する。 ・これまでの校内研究で取り組んできた道徳科及び特別活動の実践を生かすと同時に、今年度の校内研究の研究主題「学びの楽しさを感じながら、自分の思いを豊かに表現する児童の育成」の達成を意識した取組を日常の授業の中で行い、研究授業や相互授業観察等を通して授業力向上に努める。 ・授業観察や研究授業、OJT研修等を通して年間を通して授業改善に努める。	・週ごとの指導計画 ・授業時数報告 ・授業観察、研究授業、研修実施率 ・学校評価アンケート ・教員による自己評価	【授業評価】【学習指導】【適正な評価】肯定的な回答が90%以上 【授業評価】【学習指導】【適正な評価】肯定的な回答が80%以上 【授業評価】【学習指導】【適正な評価】肯定的な回答が60%以上 【授業評価】【学習指導】【適正な評価】肯定的な回答が60%未満	A B C D	A	保護者アンケート【授業評価】では93.3%が肯定的評価であった。教員の自己評価では100%が「授業改善に努めた」と回答している。さらに、校内研究の4回の研究授業は全て円滑に実施することができ、授業力向上に向けた意義のある取組となった。次年度は、校内研究の教科を絞り、授業改善の視点をより具体的に焦点化できるよう努める。
	・指導形態や指導体制の工夫、習熟度別指導や補習教室指導の充実を通じた基礎基本の確実な定着	・専門性の高い教科指導、多面的な児童理解の促進等を実現するため、一部教科担任制を実施する。 ・算数科での習熟度別指導を低学年から実施する。 ・各種学力調査の分析を授業実践に生かす。 ・1年生から3年生までは全児童、4年生から6年生までは実態に応じた人数による補習教室を実施する。 ・読書活動をより一層推進する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・各種学力調査 ・習熟度別指導実施率 ・教員による自己評価	【適正な評価】【学習指導】【学級経営】肯定的な回答が90%以上 【適正な評価】【学習指導】【学級経営】肯定的な回答が80%以上 【適正な評価】【学習指導】【学級経営】肯定的な回答が60%以上 【適正な評価】【学習指導】【学級経営】肯定的な回答が60%未満	A B C D	B	全国学力学習状況調査では、国語算数理科いずれも全国平均を上回った。しかし、八王子市学力定着度調査では、八王子市の平均を大幅に下回った学年・教科もあり、次年度も引き続き基礎基本の確実な定着に向けて、指導形態や指導体制をさらに工夫していく必要がある。また、学習規律を高めるために、より落ち着いた学習環境を学校全体で構築していく。
<重点目標> 豊かな心の育成	・教育活動全体を通じた道徳教育の充実と年間指導計画に基づいた意図的・計画的な道徳科授業の充実 ・児童の主体性、思いやりの心を育む特別活動の充実	・道徳教育全体計画及び別業を基にした教育活動全体を通じた道徳教育を計画的に実施し、重点的に指導する内容項目を「生命の尊さ」とした年間指導計画に基づいた道徳科授業の充実を図る。 ・自己肯定感を高め自己有用感を感じることができるよう児童の主体的な話し合いを促す学級活動を行う。 ・縦割り班活動等の異年齢集団による活動の取組を推進する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・道徳授業、特別活動授業実施率 ・教員による自己評価	【人権教育】【生活指導】肯定的な回答が90%以上 【人権教育】【生活指導】肯定的な回答が80%以上 【人権教育】【生活指導】肯定的な回答が60%以上 【人権教育】【生活指導】肯定的な回答が60%未満	A B C D	A	保護者アンケート【人権教育】【生活指導】では、93%が肯定的評価であった。また、縦割り班活動等の異年齢集団による活動も計画通り実施し、新たな取組を推進することもできた。児童アンケートによる自己評価「あなたは自分のことが好きですか」については肯定的評価が80%であったが、過去数年間と比較すると着実に肯定的評価の割合が高まっていることが分かる。引き続き人権尊重の教育を推進していく。
	・いじめにおける組織的な未然防止・早期発見・早期対応の徹底 ・不登校における関係諸機関との連携と個々の実態に応じた多様な適切な支援の充実	・学校いじめ防止基本方針に則り、週1回の「いじめ対策委員会」の開催、ふれあい月間における「いじめアンケート」と「校長講話」の実施、年3回のいじめ防止研修会を実施する。 ・校内委員会の定期開催、個票システムを活用した情報共有、登校支援コーディネーターを中心とした関係諸機関との連携強化等により不登校傾向の児童に対して多様な適切な支援を組織的に行う。 ・子供見守りシートを基に保護者との連携を強化する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・委員会、研修会等実施率 ・教員による自己評価	【いじめ防止対応】【生活指導】肯定的な回答が90%以上 【いじめ防止対応】【生活指導】肯定的な回答が80%以上 【いじめ防止対応】【生活指導】肯定的な回答が60%以上 【いじめ防止対応】【生活指導】肯定的な回答が60%未満	A B C D	B	保護者アンケート【いじめ防止】【生活指導】における肯定的評価は、92.9%であったが、児童アンケート「先生たちはいじめを許さない学校づくりに取り組んでいる」の肯定的評価が84.8%であった。約15%の児童がよりいじめ防止についての取組の推進を願っているとらえることができ、次年度もより一層学校全体で児童一人一人に寄り添った丁寧な対応を心がけていく。
	・一人ひとりの教育的ニーズに的確に応える特別支援教育の充実	・特別支援コーディネーター、巡回指導員、特別支援教室専門員との連携深め、適切に「学校生活支援シート」「個別指導計画」を作成し、活用する。 ・ユニバーサルデザインの視点から見た教室環境づくりや授業づくりを実践する。 ・特別支援教育の理解を深めるための校内研修を実施する。 ・相互に人格と個性を尊重し合うことのできる心情や態度を育てる副籍児童との交流を実施する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・校内研修実施率 ・教員による自己評価	【特別支援教育】【環境整備】肯定的な回答が90%以上 【特別支援教育】【環境整備】肯定的な回答が80%以上 【特別支援教育】【環境整備】肯定的な回答が60%以上 【特別支援教育】【環境整備】肯定的な回答が60%未満	A B C D	B	教員の自己評価では特別支援教育について100%が肯定的評価であったが、保護者アンケート【特別支援教育】では、「わからない」の回答が14.9%であった。次年度は教員の特別支援教育に関する研究と実践をより多く設定していくと同時に、特別支援教育の東京都や八王子市の取組、学校の取組をより一層丁寧に周知していく。
健やかな体の育成	・学校全体としての組織的な児童の体力向上、健康維持増進の取組の推進	・年間指導計画に位置付けたキャッチボールウィークや持久走旬間、縄跳び旬間や横二小カップ等の児童の体力向上と運動の日常化を目指した取組を学校全体で計画的に実施する。 ・福祉体験等を通して障害者理解を推進し、共生社会の実現を目指した取組を行う。 ・健康で安全に生活する資質・能力を育むための心身の健康の保持増進、安全や食に関する指導や取組を推進する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・体力テスト ・教員による自己評価	【特色ある学校づくり】肯定的な回答が90%以上 【特色ある学校づくり】肯定的な回答が80%以上 【特色ある学校づくり】肯定的な回答が60%以上 【特色ある学校づくり】肯定的な回答が60%未満	A B C D	A	保護者アンケート【特色ある学校】では、93.3%が肯定的評価であった。児童の体力向上と運動の日常化を目指した学校全体での取組も計画通りに実施でき、児童の意欲的な姿を多く目にすることができた。次年度も引き続き本校の特色である特別活動とも関連させて、児童自らが取組に向けて主体的に行動できるよう計画実施していく。
小中一貫教育の推進	・義務教育9年間を見通した横山中学校グループ(横山中、散田小、横二小)における小中一貫教育の推進	・横山中グループにおいて9年間で育てたい児童・生徒像を「自分の命、他者の命、地域の学び舎を大切に育てる児童・生徒の育成」として、目標を実現するための取組を推進する。 ・児童・生徒がよりよい人間関係を築く契機とする3校合同のたてわり班によるあいさつ運動やクリーン作戦、レクリエーション等の活動を実施する。 ・小中共通の「学習・生活スタンダード」の児童・生徒・保護者への周知を強化し、実践する。 ・一部教科担任制を実施する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・小中連携行事実施率 ・教員による自己評価	【小中一貫教育】【特色ある学校づくり】肯定的な回答が90%以上 【小中一貫教育】【特色ある学校づくり】肯定的な回答が80%以上 【小中一貫教育】【特色ある学校づくり】肯定的な回答が60%以上 【小中一貫教育】【特色ある学校づくり】肯定的な回答が60%未満	A B C D	A	小中一貫教育について、児童アンケートでは92.4%が肯定的評価であり、保護者の肯定的評価も93.3%であった。昨年度が80%前半だったことと比較すると、今年度はその取組内容が保護者に大きく浸透していったことが分かる。次年度は小中一貫教育とキャリア教育をより具体的に関連させるなどして、更なる推進に努める。
保護者・地域との連携	・学校運営協議会を要とした地域・保護者との連携の推進 ・学校教育の充実を図るための開かれた学校づくりの推進	・学校運営協議会を年8回確実に開催し、横山中グループによる3校の学校運営協議会合同開催を実施する。 ・地域運営学校としての取組や学校の教育活動を学校ホームページ等を活用して積極的に公開する。 ・学校公開設定日を増やす。 ・旧PTA役員等とともに、保護者と学校の新しい協力体制を検討する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・協議会開催実施率 ・教員による自己評価	【地域推進】【情報提供】肯定的な回答が90%以上 【地域推進】【情報提供】肯定的な回答が80%以上 【地域推進】【情報提供】肯定的な回答が60%以上 【地域推進】【情報提供】肯定的な回答が60%未満	A B C D	A	教員の自己評価及び地域・学校運営協議会委員の【地域推進】については100%の肯定的評価であった。また、保護者アンケート【情報提供】においては99.3%の肯定的評価であった。毎日のホームページ更新や学校公開日の増設、日々の保護者や地域とのきめ細かな連携が高評価に至った要因であると考えられる。次年度も保護者及び学校運営協議会を要とした保護者・地域連携を推進する。
職場環境の充実	・教員の働き方改革の推進と充実した職場環境の整備	・在校時間の適切な把握と働き方の見直しに向けた教職員の意識改革を推進する。 ・教職員の業務を精選、軽減し、教員が本来の専門性を発揮できる環境整備を推進する。 ・職場環境の整備、教職員の働き方改革を推進していくことを更に発信し、保護者や地域の方々より一層の理解促進を図る。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・教員の在職時間調査 ・教員による自己評価	【経営方針】肯定的な回答が90%以上 【経営方針】肯定的な回答が80%以上 【経営方針】肯定的な回答が60%以上 【経営方針】肯定的な回答が60%未満	A B C D	A	地域・学校運営協議会委員の【経営方針】については、100%の肯定的評価であった。保護者アンケートにおいても91.8%の肯定的評価であった。学校経営方針が概ね地域・保護者へ浸透していると考えられる。教員の自己評価においても業務改善で100%の肯定的評価であった。次年度も不易と流行を的確に見極め、教育の質を高めるための更なる職場環境の充実を図っていく。